第 63 回全日本総合男子ソフトボール選手権中国予選

期日：2017/7/1 12:03～
場所：広島県福山市箕沖グラウンド C 会場

1 回戦

環太平洋大学	2	13	5	20
下関長州クラブ	1	0	1	2

環：先村(2 回)糸数(1 回) ― 山内(1 回)檜田(2 回)
下：小熊坂 ― 串崎

本塁打：浜本、細川、中村（以上環）
三塁打：吉永（環）
二塁打：宇根（環）

戦評

1 回表、1 死 から 2 番浜本センター前ヒット、3 番三谷・4 番山内連続四球で満塁と攻め、5 番細川が初球を捉えてレフト前のタイムリーヒットで先制。2 死となったが 8 番山本が詰まりながらもセンターへタイムリーヒットで幸先よく 2 点を奪った。2 回には 1 死から 1 番宇根が 0-1 から左中間を深々と破るツーベースヒット、2 死 2 塁となったが 4 番山内・5 番三谷･6 番中村の 3 連打で 4 点を追加し相手守備の乱れと 3 四球の押し出しにより 6 点目、続く 2 番浜本が初球を捉えグランドスラムとなる満塁ホームランをライトスタンドに叩き込みこの回 10 点目。なおも四球と守備の乱れにより 3 点を加えこの回大量 13 点を奪うビッグイニングとなった。3 回にも 2 死から代打小見山レフト前、途中から代わった檜田も三遊間を破りチャンスを広げる。2 死 1.2 塁から 5 番細川の左中間スタンドへのスリーランホームランで 3 点追加、6 番中村も 2 者連続となるソロホームランをライトスタンドに放ちこの回 4 点目。続く 8 番吉永が 0-1 から右中間を破るスリーベースヒットで出塁し、9 番大森が詰まりながらもライト前にポトリと落ちるタイムリーにより 20 点目。先発の先村は立ち上がり 2 本のヒットと失策により 1 点を失ったがまずまずのでき。代わった糸数もヒットと四球でピンチを招きダブルプレーでの守備の乱れがあり 1 失点で後続を断ち 20-2 で初戦を突破した。